

パネルセッション自己紹介・ 問題提起

持橋大地

統計数理研究所

daichi@ism.ac.jp

NLP2023

『深層学習時代の計算言語学』

2023-3-17 (金)

自己紹介

- 東大文科三類(仏語)→教養学部基礎科学科第二
→NAIST松本研→ATR音声研→NTT CS研
→統数研
- 専門分野：自然言語処理、ベイズ機械学習
- 言語学→自然言語処理→機械学習→統計学
と研究が移っていく必然
 - 基礎二4年の時に、理学部辻井研および言語情報の
中澤先生のところに突撃 (押しかけ学生)

共同研究

- 言語学者とも色々共同研究している気がします
 - 国立国語研究所 新領域創出型共同研究
「現代語の意味の変化に対する計算的・統計力学的アプローチ」 w/ 小木曾さん ほか
EMNLP 2023 Long (オーラル) 採択！
 - 国立民俗学博物館 菊澤さんとの科研費国際研究
「Fijian GIS Project」
 - 科研費学術変革領域(B)、 「言語芸術の脳科学」
w/ 大関さん (東大) ほか

問題提起

- 深層学習モデルが人間同様の自然言語処理能力を見せている現在、言語学の知見で、何が行われているかを知りたい
 - どんな知見が有効? (cf. NLP2023 窪田さんの発表)
- 言語学の方がNLPを学びたい場合に、
 - 状況は最近変わったか?
 - 何が問題か?
- 言語＝テキストではなく、韻律や抑揚、音声、書字などが深層学習のおかげで守備範囲になった
 - NLPの人はあまり興味を持っていない..?